

2019 年度 TJUP 学園祭お訪ね隊 参加レポート

No.	参加日：11月2日（土）12時～15時	訪ね先：立正大学星霜祭
参加メンバー：駿河台大学、東京電機大学		
1. 参加した学園祭の感想（400字程度）※TJUP HP に体験談として一般公開します。		
<p>2019年11月2日(土)に立正大学熊谷キャンパスで行われた「第32回星霜祭」に参加しました。立正大学熊谷キャンパスには地球環境科学部と社会福祉学部看護学科がありますが、学部の学修内容（特に地球環境科学部）にリンクするようなサークルが多く見られたことが印象的でした。</p> <p>校門から一番近いところに模擬店が並んでおり、バスケットボールサークルのうどんと、職員有志が出店していた照り焼きチキンドッグを頂きました。また、模擬店近くの棟では、学祭とともにオープンキャンパスが開催され、多くの学生達が手伝っていました。</p> <p>初日の訪問でイベントが少なかったために、主に校舎内のクラブ/サークル展示を回りました。“書道部”は作品を展示しており、学生が自らの作品を解説してくれました。漢字で書いたポケモンキャラクターを当てるクイズなど、書道以外でも楽しめる工夫がされていました。“地球圏探検サークル DISCOVERY”では、自分たちで集めた鉱物や鉱石の展示、また、カルデラの生成実験などを行なっており、楽しく活動している感じが感じられる展示でした。“応用地理測量学研究会”の展示室では、測量技術や自分たちの巡検記録について解説してくれました。測量機器（オートレベル）を用いた測量方法を体験し、良い経験になりました。新旧さまざまな測量機器についても細かく解説して頂き、学生達の測量に対する熱い思いが伝わってきました。“地球にやさしい会”は里山の保全や熊谷市の環境保全活動を行っているサークルで、どんぐりや切り株などの天然素材を生かしたクラフト体験を行っていました。材料は部員が集めてきたそうで、訪問した時ちょうど小さな子供を連れた一家が楽しそうに作品を作っていました。展示を手伝いに来ていたサークルのOGに話を聞いたところ、学生時代の専攻（地球環境科学部出身）を活かし、現在は水質検査の会社に勤務とのことでした。“フォーリーフ・クローバー”という占いサークルの展示は、占いのカフェでした。地球環境科学部のゼミ生が多いと聞き、その理由を聞いたところ、顧問の先生の専門が統計学とのことでした。サークル展示も初日は準備中のものが多く、数が限られていましたが、訪れたサークルはどれも熱心でした。</p> <p>小さい子連れ家族の来訪者が多く見られ、星霜祭が地域に定着していることが分かりました。広いキャンパス内で学園祭の場所を絞っているようで、企画が1校舎にまとめられているのは見学する側にとって分かりやすいと思いました。また、大学の職員有志が出店している模擬店がありましたが、完全に勤務外という点に感心致しました。職員としてはハードルの高いことであり、立正大学のアットホーム振りがうかがえました。</p>		